

拠出金名：アジア欧州財団(ASEF)拠出金

国際機関等名	アジア欧州財団(ASEF) (英文名称・略称) Asia-Europe Foundation (ASEF)					
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	○その他		
所轄官庁担当局課名	外務省経済局アジア欧州協力室					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト		
平成18年度	9,630	86.8		1\$= 111円	(2006年) 1.9	0
平成17年度	10,700	100		1\$= 107円	(2005年) 2.4	0
平成16年度	14,242	129		1\$= 110円	(2004年) 3.5	0
拠出上位5ヶ国・機関						
	国 名	金額(千ドル)	率(%)	当該基金の財政 (2005年度決算、なおシンガポール・ドルによる決算)		
1位	EC	1,089	24.3	当該年度の収入 7,486,417星\$		
2位	フランス	600	13.4	当該年度の支出 7,116,056星\$		
3位	ルクセンブルク	307	6.9	次年度への繰越 17,804,675星\$		
4位	スペイン	301	6.7	会計検査機関名		
5位	ドイツ	271	6.0	Ernst & Young 社 (シンガポール所在の監査法人)		
上記の率及び順位は平成2006年度のもの				(現在の構成員の出身国:シンガポール他)		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
ASEFは、ASEMの第3の柱(社会、文化、教育その他)において、アジア・欧州間の人的、知的、文化的交流のプロジェクトを行うことにより、両地域の交流を促進する重要な役割を果たしている。我が国からの拠出金はイヤマークされた分野の事業経費とされ、日本からの理事一名を含む理事会及び我が国の承認を得た上で適切に執行されている。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
ASEFでは、現在、事業数及び一事業あたりの経費を削減する等合理化の努力が行われているほか、人事・組織面での機能強化も図られている。また、財政運営及び今後の事業方針等については、日本からの理事一名を含む理事会執行委員会が精査し、合理的かつ効果的な財団運営に努めている。						
邦人職員数 うち幹部以上	0人 うち 0人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率	34人(うちインターン5名) 0%			
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
なし						
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
未定						

(注)ASEFは2005年度までは我が国と同様の会計年度(4月-翌年3月)を採用していたが、2007年から会計年度が暦年(1月-12月)に変更されたため、移行期間である2006会計年度のみ、2006年4月~12月までと変則的になっている。なお、拠出率はASEF作成資料に基づき暦年で計算したもの。